

実行要項

8：15 体育館前集合 会議

8：45 入場 2階会議室にて審判会議に参加 玄関にて入場者の検温 二手に分かれる
入場者が落ち着いたら検温係はアリーナへ入場し、8：30 ごろから各コートに選手招集

4～6 コートは午前が早めに終わる予定のため、

1 早めに昼食を済ませ、午後入場者の検温 12：15～ 入場が落ちつたらコートへ戻る

2 午前の係は午後の試合に出る選手なので、決勝コート A,B の係員と交代 終了後昼食
二手に分かれる

形予選

1 人が審判、1 人が運営

基本的に3つのコートに分かれる。

選手は3回演武を行う。

1 回目コート内で全員が終了したら、一人ずつ点数発表

審判がコートをローテーションして、2 回目開始

1 回目、2 回目は基本形、3 回目は自由（基本形、糸東流の指定形、尚空連形）

3 回終了したら、選手全員と点数の記録を決勝コートへ移動

形決勝

選を行わず決勝の種目がある。

上記も含め自由形（基本形、糸東流の指定形、尚空連形）

予選で使用した形も使用可

審判3人制

決勝コートの指導員が予選の結果を集計し、決勝進出者を発表

幼児、小学生形、基本は決勝に進出しなかった者に敢闘賞の盾

この後試合がない選手の保護者 ID 回収

同点3位まで決勝進出、3位までメダル 4位は敢闘賞

1位～3位が同点2名の場合は同時演武でフラッグ

3名の場合は、点数再演武 形繰り返し可

表彰はメダルと楯のみで、表彰が終了したら解散

記録用紙は書類入れへ（出来れば種目ごとまとめる）

組手

1 分間フルタイム、6 ポイント **先取**

ミラー方式

先取なしで同点の場合は、主審による判定

副審は主審の補助

監査がないため、副審は得点板のチェック

組手予選

勝った選手のカードにシールを貼る

選手のローテーションは、別紙「形組手運用方法」参照

赤/青それぞれ最も右の選手は、試合が終わったら速やかに赤青を変える

※前回これにかなりもたついた

3 つに分かれる種目は各コート 1 位が決勝コートへ（決勝リーグ戦）

2 つに分かれている種目は 2 位まで決勝コートへ（1 位決勝、2 位三位決定戦）

記録用紙に決勝コート進出者を分かるように記載し、決勝コートへ

これ以降試合がない選手の保護者 ID 回収

組手決勝

決勝進出者の名前を記録用紙に記入

3 名の場合は総当たり戦

4 名の場合は、予選 1 位—予選 1 位で決勝 予選 2 位—予選 2 位で三位決定戦

3 位までメダル授与

表彰後解散

これ以降試合がない選手の保護者 ID 回収

幼児組手

予選を 4 コートと 6 コートで行い、5 コートが空く

遅れている方の試合の一部を 5 コートで行う